

駒場松桜会会報

第75号
 2004年9月1日発行
 財団法人駒場松桜会
 〒153-0044 東京都目黒区大橋2-18-1
 都立駒場高校仰光寮
 電話 03-3466-7579
 振替番号
 00190-8-28486
 E-mail/
 komaba999@
 komaba.or.jp
 ホームページ
 http://www.
 komaba.or.jp

いよいよ

駒場松桜会創設百周年

明治38年に母校の前身東京府立第三高等女学校から最初の65名の卒業生を受け入れて以来、平成17年には駒場松桜会の創設百周年を迎えます。駒場松桜会ではその記念事業として、次のような事業を企画しております。詳細は次回会報05年3月1日発行の76号でご案内いたします。

お花見とお茶会

来年の4月2日、総会の後に、仰光寮でのお花見。10年前は仰光寮にお抹茶のお席を用意し、きれいな桜を見ながら優雅にお茶をいただきましたが、今回は、仰光寮にゆつくり親しんでいただき、昔を懐かしむと共に、建築上価値ある所を見学し、お友達と語り、楽しい時をお過ごしください。

お茶会は東館の和室で催す予定です。茶道部講師の江本泰子(駒12)さんを中心に茶道部のOGにお手伝いしていただいでゆつくりお抹茶を味わっていただきたいと計画しています。

駒場松桜会創設百周年記念

松桜会美術展

都立駒場高等学校はかつて美術科を併設していたこともあり、各

分野で活躍している卒業生を多数輩出しております。今回は現在活躍している伝統工芸から現代アートまでの作家を選抜して、美術展を開催いたします。

日時 平成17年6月(予定)
 場所 目黒美術館
 (区民ギャラリー)

コチロン

母校創立百周年記念コチロン大会での最終ダンス、アリーナいっぱいひろがったコチロンの輪はまさに感動そのものでした。第三の大先輩から、この日見学を訪れ初めて踊りに参加した在校生、外国からのお客様まで交えた100名を超す人の輪が忘れられません。

夢をもう一度!実現したいと思えます。中間試験の最終日あたりのアリーナをお借りして、コチロン大会を開きたいと思えます。多



数のご参加をお待ちしております。現在、定例の練習会は月2回、第1木曜午後2時から4時まで、駒場幼稚園のホールで、第3火曜は午後2時から4時まで、母校体育棟2階の体育講義室をお借りして行っております。

又、ここ数年恒例となった秋の合宿を、今年も計画致しました。

日時 11月9日(火)〜10日(水)
 場所 国立女性教育会館

国立女性教育会館は、東武東上線武蔵嵐山駅から徒歩15分のところに在り、豊かな自然と、整った設備の会場で、ひろびろとした体育館を借り切って思う存分踊ることができ、参加した方々の評判も上々です。宿泊は洋室中心で2000円程度、食事はカフェテリア方式で700〜1000円程度で、好みに合わせて選ぶことができますので便利です。武蔵嵐山へは、池袋から急行1時間(運賃700円)少々で着きます。どうぞ初めての方もお気軽にご参加下さい。

お申し込みは9月末日までお受け致しますので、松桜会事務局へTEL or FAXでどうぞ!

仰光寮について

仰光寮は、木造2階建て瓦葺き、建築面積153.69㎡、延べ床面積229.56㎡で昭和8年10月宮内庁から東京府に下賜された「香淳皇后東宮妃教育時代の学問所」を麻布区北日ヶ窪(現在の港区六本木)の府立第三高等女学校内に父母等の負担により移築。26年8月松桜会から学校へ仰光寮を寄付し、26年11月麻布の旧校地より駒場へ松桜会の負担で再移築をし現在に至っています。現在、教育庁では高校の改築以降、仰光寮は地震、強風、老朽化に伴う落下、倒壊、飛散及び火災等の恐れがあり、生徒、近隣住民の安全確保に問題があると考え、従って使用は原則禁止されています。さらに、解体したい方向でいます。3月29日と4月19日の2回東京都教育庁学務部高等学校教育課の内田光夫副参事と意見交換会をしました。そこで、本年中くらいに松桜会としての判断を迫られているのです。1.現状で安全を確保できるものにする。2.どこかへ移築する。3.解体をして記念碑等を建てる。等で、いずれも費用負担は松桜会ですることが前提です。是非、皆様のご意見をお聞かせください。

理事 矢部 一

04年度都駒祭

—とりこまさい—

学園祭参加のお知らせ

展示 松桜会講座

—学びの場をいつまでも—

日時 9月19日(日)

午前10時〜午後4時

9月20日(月)

午前10時〜午後3時

会場 本館2階202教室

04年度総会

04年度駒場松桜会総会は、5月22日(土)13時から母校2階会議室で開催されました。

まず中江理事長から母校百周年記念事業の記念誌・名簿の完成、松桜会講座の開始の報告。05年の松桜会創設百周年記念行事の企画説明がありました。

続いて鳴海校長からは、今年度の入試から都立高校の学区制がなくなってきたが、文武両道の充実という校風や環境・交通の便などの良さから、高倍率であったこと。進学状況も教職員の授業内容や時間の工夫、生徒の努力により良好のことでした。教職員関係では教頭が副校長になりました。また19名の異動がありました。昔からの駒場高校の良き伝統は新しい方々とも一丸となり継続していくというお話でした。

恒例の母校生徒会への助成金は矢部理事から照井副校長へ贈られました。その後、校歌斉唱、休憩をはさみ、講演会へと移りました。



講演会

『演劇のある場所』

—遊びやせむとて—

生まれけり—

劇作家・演出家

佐藤 信 (駒14)



総会で独特な校歌を歌いながら駒場高校へ来た頃を思い出しました。駒場高校は僕の人生にとって2つの大きな意味を持っています。1つはこれまで駒場高校に合格ほど嬉しかった事はないんです。中学時代とても腕白だったので教師もまさか?という感じでした。もう1つは60年高2の頃、16才の自分が大きく変わる転機の場所だった

たということ。この頃からさかんに本屋へ行き新しい分野に目覚めたり、政治には全く無縁でしたが、加藤登紀子さんの東大生のお兄さんにオルグられコロッと変わった。授業をさぼったことは一度もないけど、夜中新宿で遊んでいました。でもそんな僕を陰日向なく庇って下さった先生がいらしたんです。大西先生が拙い詩集を読んでも下さったり、円城先生は深夜の浅草の劇場で出会っても咎めることなく接して下さったり。校内にも逃げ場というかダークサイトがあり、自分にとってはとても大切な場所でした。

高3の時受験体制打破と加藤登紀子さんと同盟を組みました。でも彼女は冬休みにチヨコッと勉強して東大文Ⅲへストレートで行ってしまい、自分は早稲田大学第二文学部へ入りました。昼間は六本木の俳優養成所で演劇の勉強を始めました。当時はヨーロッパから輸入したものを翻訳した新劇が殆どでした。俳優さん達も茶髪にしたり鼻もパテをつけたり型もすっかり真似たんです。授業もそうでヨーロッパの型で訓練を受ける訳です。発声や言いまわしもね。

そうこうしてうちに何か自分とは違うなあ、遊び仲間はどうしたものかを絶対見に来てはくれないなあと思うようになりました。そこを卒業してから、自分達の芝居をやる場所を作ってしまったおうと材木町のガラス屋さんの地下室を借りて「自由劇場」としました。その時代もあって若い演劇人達が既成の劇場ではない活動を始め

ました。寺山修司さんの天井座敷唐十郎さんの赤テント、鈴木忠士さん、別役実さんなどご存じだと思いますが、いわゆる小劇場運動です。これは3つの特性がありました。1つは演劇は場所にとらわれずどこでもできる。そこに演劇があるという意識。2. 翻訳劇ではなく創作劇をやる。3. 俳優の表現をせりふだけでなく体の動きも重視する。身振りとか喋り方等不合理的な面もある訳で、要するに若いやつらがギャーギャーわに分からないことをやっているというかなんというか……。

自由劇場で年間6〜7本やり少し世間的な注目も浴びました。でもこの地下室にお客さんが来て下さるのがえらく傲慢に思えたんです。そこで黒テント担ぎ芝居があまり来ない所へ出かけて見てもらう活動を70年から20年間かけてやってきました。120都市ぐらいには



なつたでしょうか。最初はテントを張る場所がなかったんです。公的施設は殆どダメでした。お寺に紹介してもらおうとか、大きめの街なら昔ながらの喫茶店に一日いてそれらしき人に当たりをつけるとかいろいろ苦労しました。

そうこうしている中80年代半ばぐらいからでしょうか、音楽や演劇の環境が変わって来ました。各地方に特徴のあるホールができましたし、文化庁の文化振興予算だけは右肩上がり。特に演劇は注目されてます。これまでどことなくうっとうしいもの、いかがわしいとされたものが日向へ出てきたんです。演劇ワークシヨップが人格改造の手段の一つになったりとか。でも僕はこう思います。演劇の持つ集中性触発性がまるで現実の体験のように感じられても、これは一回で擬似的ということをしつかり押さえておかないとね。劇を見て自分の心にもある闇や悪にひかれる部分に気づきある意味快感を味わうのも日常生活そのものではない。演劇とは副題にもした「遊び」だからこそと思います。

自分達もこれからの託す若い人達に対しても遊びそのものを押しつけることはできなくても、遊びが生まれてくるような余地すき間を作り出すことができるのではないかと思っています。

そんなすき間のあった時代に、僕のような学校以外での体験に深入りした雑草をほっておき、摘むことなく枯らさないでおいでください。駒場高校に今あらためて感謝しています。

駒場高校大学合格状況

駒場松桜会収支報告

平成15年4月1日から平成16年3月31日まで 単位:円

Table with columns for university names (e.g., 北東大, 筑波大), H14, H15, H16 counts, and a total row.

Table with columns for private university names (e.g., 青山学, 麻布大), H14, H15, H16 counts, and a total row.

Table with columns for short-term university names (e.g., 川崎市立看護短大), H14, H15, H16 counts, and a total row.

Income Statement Table (収入の部) with columns: 会費収入, 入会費, 賛助会費, 事業収入, 利息収入, 基本財産, 積立財産, 雑収入, 当期収入計(A), 前期繰越収支差額, 合計(B).

(注)・「差異」は決算額一予算額とした。

Expense Statement Table (支出の部) with columns: 事業費, 講演会, 助成金, 会報発行, 名簿維持, 学園祭参加, 雑費, 管理費, 諸手当, 会議費, 消耗品, 通信費, 交通費, 公租, 雑費, 積立預金支出, 基本財産積立金, 名簿発行積立金, 予備費, 当期支出計(C), 当期収支差額(A)-(C), 次期繰越収支差額(B)-(C), 合計.

(注)・「差異」は予算額一決算額とした。

平成15年度事業報告

平成16年度事業計画

- List of activities for fiscal years 15 and 16, including reports, general assemblies, and various events.

走る女たち

今年はオリンピックイヤー、スポーツに目を向ける時、まず誰でもができるのがランニング。今回は駒場出身の女性ランナーたちに聞いてみました。

国際交流もランニングで

松村 雅子さん(駒22)
(旧姓 北川) 写真右



松村さんは幼い頃からやせていて体力が無いのを心配したご両親に勧められて高校の時には卓球部に入学しました。卓球部では練習前にランニングをします。その毎日のトレーニングによって徐々に体力がついていったようです。距離では一度もリレー選手には選ばれなかった松村さんですが、その頃、駒場生にはおなじみのスポーツテストの1000M走で3分台の記録が出たことで長距離にむいていくのではないかとこの思いがわいてきました。それでもランニングを本格的に始めたのは三十代になってから。大学卒業後に勤めていた会社のランニングの同好会に入ってからでした。

松村さんにとってのランニングの魅力は、第一に走っている時の何ものにも替え難い解放感。そして練習すればするほどタイムが速くなることの喜び、また体力がついていくという実感だといいます。

その後ご主人のお仕事の都合で89年から10年間シンガポールに住することになりましたが、そこでも現地のランニングクラブに所属。年に一度行われるシンガポールマラソンに参加して好成績を収めシンガポール代表として香港でのマラソン大会にも二度出場しました。国際都市シンガポールだけに、クラブには世界各国から老若男女が集まっており、その中で幾多の友情を得ることができました。単に駐在員の家族としてだけではなく、一人の人間として、現地の人々とふれ合うことができたのは、マラソンのおかげと松村さんは語っています。今もシンガポールを再訪したり、当時の友人が日本のマラソン大会に参加するために訪日して旧交を温めることもあるそうです。

国際的なマラソン大会では出場のための標準記録が設置されていますがどうしても越えられなかったその壁を酷暑の地でのマラソンで鍛えられて乗り越えることができたのも幸せなことでした。00年、01年と出場した東京国際女子マラ

ソンでは、自分が最年長と思いきや、何人も50代の女性が参加していることに感動したのもよき思い出です。

フルマラソンを20回以上走り、ベストタイム3時間12分という松村さんが近年楽しんでいるのは、ウルトラマラソンと呼ばれる100kmマラソンです。マラソンは競争ですが、ウルトラマラソンは旅に例えられます。100kmを走るこのレースは中高年にこそ勧めたいもの。マラソンならスペシャルドリンクを飲みながら走るところですが、ウルトラマラソンでは所々に設けられたエイドステーションでゆっくり飲食してから走るランナーの姿が多く見受けられます。時には地元の人達からの差し入れもあるそうです。それ故このウルトラマラソンには70歳を超える参加者もいるというから驚きです。

日本に帰国後は中国語の翻訳の仕事と家事、そしてマラソンという趣味を両立させてきましたが、それは家族の協力もあつてのこと。長年応援してくれてきたご主人が、時間の余裕ができた昨年から10kmマラソンに挑戦し始めました。松村さんは昨秋からひざの故障でランニングをしばらくお休みしていますが、一日も早く足を治して、今度は二人でゆっくりと走ることもしたいとのことでした。

松村さんのクラスでは恒例のクラス会を昨年は高尾山登山にしました。自信のないむきにはケープルカーもあるのですが、こんな試みもちょっと楽しいのではないのでしょうか。

人生ランナー

森岡 まり子さん(駒46)



小さい頃から走る事が大好きだった森岡さんは、中学高校は迷わず陸上部に所属。中京大学時代マラソンで活躍し、実業団スズキに入社されました。その後OL生活を経て今は看護学校で学ばれています。森岡さんにお話をうかがいました。

「一日のスケジュールや走るための工夫など教えて下さい。」
「朝7時30分に起き30〜40分のジョギングをします。9時から4時30分まで授業を受けその後練習。7時ぐらいから食事の支度をし、食事後授業の予復習や練習の補強。11時半頃には寝ます。食事は自炊でバランスを心がけ、睡眠も8時間をキープ。オフには勿論遊びますが、温泉にもよく行き疲労回復にも努めています。」

「授業後の練習はどういうことを？」

「現在、愛知県立総合看護学校に通っています。放課後はさかえクリニクトラッククラブに所属し大学時代からずっとお世話になっている川口孝志郎先生のご指導の

もと、16才から23才までの高校大学の後輩と練習させて頂いています。彼女達からは競技へのひたむきな心や若さをもらっています。」

「森岡さんはこれまでいくつか転機がありましたか、それと走る事との関連などいかがでしょうか。」
「今振り返ってみると、競技をやり始めた頃や学生時代、実業団時代にくらべて競技に対する考え方が変わりました。特に実業団にいた頃は問われるものは結果であり結果が全てだという考え方でした。でも実業団を辞めた時から努力する過程にこそ価値がある、結果はついてくるものと思えるようになってから肩の力がスッと抜け競技に対して楽に向き合えるようになりました。確かに競技レベルは下がりましたが、競技人生の中で今が一番楽しく走れています。」

「森岡さんと走る事は切っても切れないようですね。」
「そうですね。私の生活は走る事によって支えられていると言っても過言ではありません。社会に出ると忙しく、ややもすると食事に手を抜いたり寝不足やら不規則な生活になりがちです。でも競技を続けていることで歯止めが効き生活にもハリが出てくるのではないのでしょうか。その他試合経験を通して精神面でも学んだ事は大きいですが、このような走る事の素晴らしさを一人でも多くの方に伝えられたら素敵だと思いますし、これからの看護の中にもぜひ生かしていきたいです。」

「お忙しい中、ありがとうございます。」

トップランナーめざして

早川 英里さん (駒52)

【プロフィール】

成蹊大学卒。アミノバイタルAC
㈱アチーブメント所属。
02年ホノルルマラソン4位
03年ホノルルマラソン優勝
04年名古屋国際女子マラソン8位
04年札幌国際ハーフマラソン6位



03年ホノルルマラソン優勝の
ゴール (日本人女性初)

札幌国際ハーフマラソン後の国内合宿から帰京した早川さんには疲れの表情など微塵もありません。それまで中距離走だった早川さんは大学3年時のホノルルマラソンへほんの軽い気持ちで参加しました。そこできいきなり4位、03年には優勝の快挙。マラソンの面白さにすっかりはまりました。まだフルマラソンは3回なのでよくわからない事も多いのですが、とはにかんで。同席された中島コーチのお話では早川さんはラップを確実に刻んでいけるランナーとのこと。周りの走りや、はたまたテレビ映り等に左右されず、今日の自

分の体のコンディショニング、天候条件等から自分なりのペースを決められる。その走りは素人目にはマイペースのように見えるものの、実際こういうタイプの選手、いわゆる頭で走ることでできる選手は確実に結果を残し、将来性も多々あるとのこと。

国内や外国での高地トレーニングはよく知られていますが、東京にいても毎日綿密なトレーニングは続けられます。ロード走では皇居周回をしますが練習メニューの中で特に重要なのが、運動理論に基づいて設計されたマシンを使ったトレーニングです。これは今までさほど注目されなかった骨盤の機能をマシンの独特な動きをもつてさらにアップさせるものだそうです。その他の筋力アップはもちろんな欠かせません。それと並んで一日1時間程度の低酸素ルームでのランニングも重要です。通常では私達は酸素濃度21%ぐらいの中にいますが、それを16%まで落とすと高度3200mに匹敵。その中で



ランニングは酸素運搬機能を高めるのにとっても効果的です。初めは長く走るとポーツとしましたがもうすっかり慣れましたと早川さん。シューズやウェア、ドリンクにも

さまざまな工夫があるのはご存知の通りです。

でも全てがコーチや他の人に頼る生活ではありません。大事な時に自分で何もできないのでは困るということから身の回りの事、特に食事は自分で作っています。自分にとってどんな栄養やカロリーが必要なのか。練習、休養、栄養という三本柱をいつも意識して自分で自主的に作り出すような心がけているとのこと。

将来は同じ事務所の谷川真理さんのように第一人者のランナーとして長く走り続け、さらにそれをベースに他の分野でも活躍できれば嬉しい。今はフルマラソン出場は年2回ぐらいが限度なので今年12月のホノルルマラソンにディフェンディングチャンピオンとして出ます。そして3年後の07年、大阪世界陸上出場を何よりの目標にして毎日しっかりと取り組んでいきます、と語る早川さんの声はとて

指導者として研究者として

梶原 洋子さん (駒14)
(旧姓 宮本)

【プロフィール】

文教大学教授・医学博士・東京学芸大学卒業・65年800メートルで日本記録樹立・67年アジア大会2位。その後指導者に転じ、マラソン、駅伝の実況解説者としても活躍。日本陸連・JOC委員等を歴任。東京都生涯学習文化財団理事・第5回秩父宮スポーツ医科学奨励賞受賞



競技者として一番印象に残っているのは日本記録を出し最優秀選手に選ばれた65年の学生と実業団対抗の大会です。私は大学4年生でした。その前年が東京オリンピックだったので、もう少し早く記録が出ていたらなあと思いますね。

指導者としては、浅井えり子(ソウルオリンピック出場)の長距離ランナーとしての素質を見ぬいたことでしようか。大学入学時は本当に平凡な選手だったんですよ。日本陸連の強化委員として選手

いる方が多く、また勉強の必要も痛感して、数年前から昭和医学部の本間教授(呼吸についての権威)のもとで研究を続けています。昨年医学博士号を取得し、秩父宮記念スポーツ科学賞もいただきました。今もヒトゲノム、遺伝子の研究をしています。

実業団やプロのランナーともなれば、月間120kmは走り、体脂肪は10%程度を維持し、早寝早起きの規則的な生活は欠かせませんが、一般のランナーの方は無理をせず、五感で季節を感じながら走りましょう。ランニングは一人でもでき、気軽に取り組めるスポーツです。でも一緒に走る相手がいればもっといいですね。

私の今後の目標はスポーツ文化の確立です。それにはまずスポーツ好きな子供達を育成すること。そしてできれば、野球やサッカーだけでなく陸上競技にも目を向けてほしいですね。

まだまだ暑い季節ですので、私の長年の研究テーマでもある「熱中症」についてもひと言。熱中症は「無理」と「無知」から起こります。自分の体調をきちんと認識して、無理はしないこと。水分補給は忘れない。飲み物としては、水よりナトリウムやイオン、電解質を含むスポーツドリンクをお勧めします。暑い時には、熱がこもらないように軽装で走りましょう。今秋、私の大学の教え子が二人駒場高校で教育実習をします。鳴海校長も後輩ですし、参観に訪れることができるのを楽しみにしています。(談)

松桜会講座平成16年度下期を開講します

前回の古典路線とは趣を変えて、今回は音楽、美術、文学、茶道へと世界を広げました。以下の内容と募集要項をお読みの上、奮ってご応募下さい。(変更のある場合があります)

対象者：駒場松桜会会員及び母校教職員・PTA会員

申し込み方法：往復はがきで松桜会事務局迄お申し込み下さい。9月20日締切り(必着)。応募者多数の場合は抽選。

駒場松桜会会員：講座名、住所、電話、氏名及び卒業回数(例えば駒6-2)。

母校教職員：講座名、住所、電話、氏名及び所属。

母校PTA会員：講座名、住所、電話、氏名及びご子弟の氏名、学年、クラス。

受講料：各講座に記載してあります。第1回目出席時にお支払い下さい。

当日は駒場高校本館玄関前に受付を設営いたします。

講座A

絵画入門

定員 25名 受講料 2,500円(5回分)
材料費 1,000円(モデル料も含む)

内容：絵を描く楽しさ、創作の喜びを味わうことを目標に身のまわりにある物や花・石膏のデッサンを取り、着彩し、最終回には着衣の女性モデルを描きます。

講師：山中眞寿子(駒7)

女子美術大学芸術学部洋画科卒業、現在春陽会会員、油絵、人物デッサン等の教室を持つ。

講座日程：第1回 04年10月16日(土) 第4回 05年1月15日(土)

第2回 04年11月20日(土) 第5回 05年2月19日(土)

第3回 04年12月11日(土)

講座時間：10:30～12:30

講座B

茶道「喫茶去」講座

定員 30名 受講料 2,000円(4回分)
水屋料 1,000円(菓子・抹茶代)

内容：05年の駒場松桜会創設100周年記念総会のお茶席をより楽しむために、種々の場面による「客の心遣いと作法」に重点を置いた講座です。毎回2席の想定茶席でお茶を飲み、水屋で点出しをしていただく予定です。

講師：江本泰子(宗泉)(駒12)

表千家地方教授 円融社会員 駒場高校茶道部講師10余年。

協力者 茶道部OG 新井照子(駒12)、原田百合子(駒13)

講座日程：第1回 04年11月6日(土) 第3回 05年2月5日(土)

第2回 04年12月4日(土) 第4回 05年3月5日(土)

講座時間：13:30～15:30

講座C

大草原のローラを追って —2人の翻訳者の思いを聞く—

定員 45名 受講料 2,000円(4回分)

内容：谷口由美子(駒19) 担当 ・「大草原の小さな家」とわたし(第1回)
・「サウンド・オブ・ミュージック」のトラップ一家が歩んだ道(第2回)
渡辺南都子(駒14) 担当 ・子供の本の話——うら・おもて(第3回)
・敬愛する作家たち——ルーマ・ゴッデンを中心に(第4回)

講師：谷口さんは児童文学翻訳家、主にアメリカ児童文学の翻訳研究に携わり「長い冬」などローラ物語5冊をはじめ訳書は80冊あまりあります。渡辺さんは大学卒業後出版社に勤務し子供の本の編集を担当、その後フリーの編集者となり、子供の本の翻訳も手掛けてきています。

講座日程：第1回 04年10月16日(土) 第3回 05年1月22日(土)

第2回 04年11月13日(土) 第4回 05年2月19日(土)

講座時間：13:30～15:00

講座D

クラシックの発声法で歌曲やコーラスを!

定員 30名 受講料 前期2,500円(5回分) 後期2,500円(5回分)
会場費 前期・後期各1,000円

内容：皆さんの中には学生時代本当は歌を習いたかった方もいらっしゃるのではないのでしょうか。また現在コーラスをやっているが思うように声が出せないと問題を抱えている方々!楽しくまた少しでも上手く歌えるためのコツを学習して歌曲やコーラスの曲等を使って一緒に心のハーモニーをしませんか。

講師：門屋留樹(駒16)

東京芸術大学声楽科卒業後ウィーン国立音楽大学に留学。ドイツ・リート、ウィーン民謡等のスペシャリスト。リート・オラトリオ・オペラ等国内外でも活躍。セミ・クラシックコンサート等、中でも“ウィーンわが夢のまち”は定評。

講座日程：前期 第1回 04年10月16日(土) 後期 第1回 05年1月15日(土)

第2回 04年10月23日(土) 第2回 05年1月29日(土)

第3回 04年11月6日(土) 第3回 05年2月12日(土)

第4回 04年11月20日(土) 第4回 05年2月26日(土)

第5回 04年12月4日(土) 第5回 05年3月5日(土)

講座時間：14:00～16:00

2004年 松桜会コンサート

“21世紀のヒーロー・
安藤由布樹の世界”

～ピアノ・トーク&作品集～

2004年12月18日(土) 14時開演

東京オペラシティ・リサイタルホール

全席自由 3,000円

出演

作曲・ピアノ：安藤由布樹

指揮・バス・バリトン：門屋 留樹

ソプラノ・朗読：笠原 由里

合唱：KOMA-KON

(都立駒場高校 OB・OG 混声合唱団)

プログラム

混声合唱組曲 HERO of 21st century

“21世紀のヒーロー”より

歌曲 ウィーンへのいざない

歌曲集 「子供の四季」より

ピアノ独奏 「桜の園幻想曲」

「リリー・マルレーン幻想曲」

音楽物語 「赤い靴」～歌と朗読～

* 曲目・曲順は変更する場合があります。
チケットはお早めに電話、ハガキ又はFAXで事務局までお申し込み下さい。



松桜会コンサート
見どころ・聞きどころ
松桜会の皆様へ

安藤由布樹(駒32)

この度は、松桜会コンサート「21世紀のヒーロー・安藤由布樹の世界」に出演させていただくことになり大変光栄です。駒32は、当時としては珍しいくらいに音楽大学へ進学した者が多く(9名が芸大、武蔵野音大、国立音大、桐朋音大などへ進学)、在校中は皆、音楽を織田久男先生に学びました。その時の

さて、私は現代日本のクラシッ

ク音楽の作曲の中では珍しいほどに、一般の方々に親しみやすく耳にこちよい音楽を作曲し続けています。96年に私が奏楽堂の日本歌曲コンクール作曲部門で第1位を受賞させていただいた時に、「豊かな和声感にふちどられた平明な旋律によるポリリウリティのある音楽づくり」と批評されましたが、私自身、誰にでも親しみやすい、良い意味での大衆性を持つ、演奏者と聴衆がともに感動を分かち合える音楽を心がけて作曲活動に打ち込んでいます。

また、私は在校中、現在の駒場フィルハーモニー管弦楽団の前身である、バロック・アンサンブル同好会に所属しており、駒31の先輩が立ち上げたこの小さな同好会を現在のような大編成オーケストラに発展させるために心血を注いだ最初のメンバーのひとりでした。92年の駒場創立90周年の時に会員の皆様が歌われた駒場の校歌のオーケストラ伴奏を編曲したのは私なのです。

今回は声楽とピアノを中心としたプログラムでお送りいたしますが、どなたでも気軽に楽しんでいただける内容ですので、音楽を好きな方も嫌いな方も、是非たくさんの方にお運びいただけましたら幸いです。クリスマスまでかの新宿・オペラシティ・リサイタルホールでお目にかかりましょう！

御礼とご報告

理事長 中江千恵

長い間に亘ってご寄付をいただきましたこと御礼申し上げます。お陰さまで母校創立百周年で、いろいろ計画いたしました行事・事業を極めて高いレベルで全部行うことができました。皆様のご協力に感謝しております。

来年は駒場松桜会創設百周年の年ですので、仰光寮を中心にしてのお花見会、お茶会があり、そして、コンサート、美術展、コチロン大会等計画しています。同窓会百周年を祝う年にすると共に、仰光寮の将来を考える年にも思っています。皆様には是非関心を持っていただきたく心がけておりますので、よろしくお願い申し上げます。

百周年特別会計収支計算書

(平成10年4月1日～平成16年3月31日)

収入の部		支出の部	
単位：円		単位：円	
寄付金	41,696,914	プレ音楽会	4,396,824
積立金	18,747,240	ブロンズ像	12,337,341
利息	258,382	記念絵葉書	1,024,680
(小計)	60,702,536	祝賀パーティー	5,956,248
プレ音楽会	1,426,000	記念美術展	642,087
祝賀パーティー	5,941,800	ジョイント・コンサート	5,464,860
ジョイント・コンサート	5,779,500	コチロン関係	156,390
CD売り上げ	331,500	ホームページ関係	2,034,577
記念誌売り上げ	2,335,000	記念誌編集	4,680,525
絵葉書売り上げ	7,800	記念看板	105,000
祝儀	435,000	(事業費関係小計)	36,798,532
(事業収入計)	16,276,600	振込手数料	230,350
収入合計(A)	76,979,136	振込用紙印刷	921,297
		送金手数料	9,230
		諸手当	1,302,800
		雑費	2,940
		事務費ほか	753,113
		(管理費小計)	3,219,730
		支出合計(B)	40,018,262
		収支差額(A-B)	36,960,874

駒場松桜会会報のバックナンバーを探しています。
● 10号(昭和31年発行)
● 21号(昭和41年発行)
もし、お手元にごございましたら、松桜会事務局までご連絡下さい。

平成16年度 教員異動

退職
 教諭(国語) 粟屋不二子
 教諭(国語) 中村 志江
 教諭(地理) 海東 達也
 教諭(数学) 大沢 高虎
 教諭(保体) 杉村 正孝
 教諭(保体) 大杉 一男
 教諭(家庭) 岡部 照美
 教諭(政経) 小原 孝久
 転出
 教諭(生物) 石川 哲夫
 都立第五商業高校へ
 教諭(英語) 伊東 貞子
 都立調布北高校へ
 教諭(英語) 川又 紀子
 都立両国高校へ
 教諭(家庭) 中里 洋子
 都立野津田高校へ
 教諭(音楽) 桑野 愛
 都立南平高校へ
 転入
 教諭(国語) 穴田 潔夫
 都立青山高校から
 教諭(国語) 柴田さつき
 都立葛飾野高校から
 教諭(世界史) 田島 力
 都立富士森高校から
 教諭(政経) 境野 雅樹
 都立西高校から
 教諭(生物) 宮司 成昭
 都立大崎高校から
 教諭(保体) 阿部 正彦
 都立九段高校から
 教諭(保体) 坂之井不二雄
 都立大泉高校から
 教諭(英語) 園田富美子
 都立狛江高校から
 教諭(英語) 金沢 稔
 都立竹早高校から
 教諭(家庭) 小川 雅子
 都立向丘高校から

母校生徒の活躍

水泳部
 ジュニアオリンピックク400mFR 第8位
 体操競技部
 東京都高等学校 体操競技選手権大会
 男子団体 準優勝 関東大会出場
 女子団体 第3位 関東大会出場
 二部 新吾
 個人総合第2位 IH出場
 男子バスケットボール部
 東京都高等学校 東京都高等学校バスケットボール選手権大会 第3位 関東大会出場
 陸上競技部
 東京都選手権大会 男子5種目 女子6種目入賞 関東大会出場
 石見源太郎 走幅跳 第1位
 北島 詢子 400mH第1位
 200m、400m第2位
 百人一首部
 豊田幸世 全国高等学校総合文化祭百人一首かるた部門代表
 演劇部
 関東高等学校演劇研究大会 最優秀賞 全国大会出場

同窓生の近況

○小畑富子さん(第三〇)
 『九十七年の歩み』展5月開催。
 多才な工芸品の数々の中、特にご自身がお力を入れていらっしゃる日本刺繍の見事さは目を引きました。お手製の花の帽子をワインレッドのお洋服に合わせて美しく着こなされ、若々しくいらっしやいました。

鎌田和子さん(第三二) 近況展

卒業された女子美の近くの本郷の画廊で6月に6日間開催。91才の鎌田さんはお元気に「素直になりたくて」とおっしゃり、花、果実を中心の絵が展示されていました。
 ○早間玲子さん(駒4)
 フランス国・文化省から長年の建築作品の業績により『芸術・文学勲章』を贈られました。

駒16卒業40年の同期会

6月6日に卒業後40年記念の駒場16期生の同期会が新宿京王プラザホテルのグレースルームに於いて開催されました。ここ3年連続の同期会であり、またあいにくの雨にもかかわらず5名の先生方を初め総勢70名の方が参加して下さいました。懐かしい顔にも出会え、先生方や久々の友との語らいに会は盛り上がり楽しい3時間はあっという間に過ぎてしまいました。来年の再会を約束しつつ、幸せな気持ちで胸に帰途につきました。



駒16 広木

第三四三 同期会

(平成14年11月6日国際文化会館)
 当日は佐藤浩子先生、嶋田美津子先生、高橋堅造先生、武田和子先生、竹林保次先生と百名余の学友が出席。私どもは昭和17年に入学し戦中の学徒動員、戦後の東洋英和、弁小学校、養正館等の仮校舎、駒場の輻重兵学校への移転等、戦中戦後の厳しい時代に第三での生活を過ごしました。卒業も昭和21年、22年と二年間に互っています。現在の豊かな時代からは想像もつかないような学生生活を風化させたくないとの想いで、入学60年誌『語りつく』を制作しました。

同期会のお知らせ

*駒4同期会
 日時 10月23日(土) 12時より
 場所 霞ヶ関ビル33階
 東海俱樂部
 連絡先 蓮田03・3651・0335
 中江03・3583・3341
 *祐紀(古希)を祝う駒5の会
 日時 平成17年3月28日(月)11:30
 場所 箱根湯本 湯本富士屋ホテル(総会后 強羅へ移動)
 会費 1万2千円
 連絡先 03・3713・5224
 祝光一郎

計報



黒澤 龍雄先生(校長)
 平成16年2月1日
 吉田 操先生(音楽)
 平成16年5月7日
 ご冥福をお祈り申し上げます。

掲示板

*第2回桜美展
 百周年記念美術展でご尽力下さった方々のミニ美術展。
 2004年8月31日(火)~9月5日(日)
 (11時~19時)最終日17時まで
 アートスペースリピーナ
 港区北青山3-5-25 表参道ビル4階
 問い合わせ 三宅康文(駒8)
 ☎03-3267-6521

*6回「合唱曲集を歌う会」
 2004年9月4日(土)13時~ 駒場幼稚園
 係 新井 ☎03-5701-0194
 鈴木 ☎03-3414-9723

*クラポップ、クラポップ、
 ああ~人生クラポップ!
 ~明日ハ晴レカナ、曇リカナ~
 クラシックをベースに衣替えた癒し系ニュージャンル
 出演 門屋留樹(駒16)他
 2004年11月17日(水) 19時開演
 東京文化会館小ホール 全席自由5,000円
 問い合わせ 東京音協 ☎03-3201-8116

*ムズイク・グルッパ
 出演 Mecki(門屋留樹 駒16)他
 オペラ・歌曲・コーラス・楽器演奏 他
 2005年2月11日(金)祝 13時開演 無料
 オペラシティ・リサイタルホール
 問い合わせ 門屋留樹 ☎044-711-2619

◇松桜会ホームページでも会員の皆様のご意見、ご要望、情報などを受け付けておりますのでお寄せ下さい。